

シン-コパリル-ニリン酸シターゼ

Cat. No. EXWM-5615

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 活性には二価金属イオン、好ましくはMg²⁺が必要です。このクラスIIテルペン合成酵素は、いくつかの米フィトアレキシン（オリザレキシンSやモミラクトンAおよびBを含む）の前体であるシン-コパリルニリン酸を生成します。フィトアレキシンは、植物の防御機構に関与するジテルペノイド二次代謝物であり、キチンオリゴ糖のような誘導体信号分子の認識やUV照射への曝露に応じて生成されます。この酵素は、生成物の一つであるモミラクトンBが隣接する植物の成長を抑制するために環境中に放出されるアレロケミカルとして機能する植物の根において恒常的に発現しています。他の組織では、フィトアレキシンの生合成を刺激する条件によって酵素がアップレギュレートされます。

別名 OsCyc1; OsCPSsyn; syn-CPP合成酵素; syn-コパリルニリン酸合成酵素; 9 α -コパリル-ニリン酸リアーゼ（脱環化）

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 5.5.1.14

反応 ゲラニルゲラニルニリン酸 = 9 α -コパリルニリン酸

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間の保管は +4 °Cで行ってください。長期間の保管は -20 °C~-80 °Cで行ってください。